

TAKE FREE

住まいを育み、彩りのある生活を楽しむための情報タブロイドマガジン

MATERIAL

Apr. 2016

vol. 01



photo by YOKO SAWANO

2016/5/1 DECOR TOKYO NEW OPEN!

よりよい住まいを創り出す人たちへのインタビュー
MATERIAL INTERVIEW #01 MARI MURATA

百人百様 日本の 住まいに 彩りを！

「MATERIAL」の巻頭インタビューでは、毎号、インテリアをとりまく、さまざまな分野で活躍する方々が登場！記念すべき第1回目は、住まいやインテリアに特化したキュレーションメディア『iemo(イエモ)』の創業者、村田マリさん。乏しいと言われ続けてきたインテリアメディアの世界に、旋風を起こしたこのスマートフォンメディアは、どのように誕生し、どこへ向かい成長していくのか、その展望をうかがいます。

インタビュアー：坂田夏水(夏水組)、田中元子(masaki)



» 今回のゲスト »

村田マリ

(iemo 株式会社 CEO、DeNA 執行役員)

プロフィール

むらた・まり

1978年岐阜県生まれ。岐阜、千葉、東京、名古屋で育つ。早稲田大学文学部を卒業後、サイバーエージェント株式会社に入社し、6つの新規事業開発に参画。2005年3月コントロールプラス株式会社を設立し、ウェブ制作事業を開始。2009年にソーシャルゲームへと事業転換を成功させ、2012年にgumiに売却後、シンガポールに移住。2013年12月にiemo株式会社を設立。家と暮らしのオンライン・メディア「iemo」をオープンし、2014年10月にDeNAに売却。現在、DeNAの執行役員として働いている。

iemoは主婦の視点から

— iemo(イエモ)は、どのような経緯で立ち上げることになったのですか。

村田：最初に起業した会社が買収されたとき、ちょうど子どもができた頃だったので、一度専業主婦になりました。子どもが2歳になるまでは、まさに子育てだけの生活。ライフステージがキャリアウーマンからママになり、子どもが成長していくなかで、家にまつわるものを見方が変わっていきました。

たとえば、子育てがしやすい環境を求めて住み替えの必要に迫られます。すると間取りや家具の選び方の基準も変化するため、一気に自分の中の価値観が転換してきました。

ところが、一日中子育てをしながらだと、片手間にパソコンの前で情報を探すというのが至難の業でした。あるとき、これが携帯できればなあと思ったのですが、日本には住まいや暮らしにフォーカスしたスマートフォンメディアはありませんでした。それで2年前の専業主婦だったときに、iemoを創業しました。

— スマートフォンに対応していない分野は、他にもあると思いますが、その中でも住まいにフォーカスされたのですね。

村田：服は、ガラケーの時代から携帯で買うことができました。食もレストランの予約やレビューがスマホで簡単にできてしまう。ところが、家やインテリアに関するものは、スマホで買うこともレビューをすることもできません。衣食住の中でも、住まいの領域のスマホ化が最も遅れています。

これまでの不動産やインテリア業界は、たいがい男性の目線でつくられていたように感じます。実際は、家や暮らしにおいて男性よりも主婦のほうが決裁権をもっている時代になっています。ある建築家の方に話を聞く

と、はじめの問い合わせは男性からでも、予算が決まるごとに奥さんが主導権が移り、後半は奥さんからどんどん写真が送られてくるのだそうです。

iemoがそういったことをサポートできるプラットフォームになればすぐいいなと考えたわけです。

— iemoのコンテンツには、建築やインテリアの専門メディアが取り上げてこなかったような、たとえば100円ショップのものを利用したDIYなども多く紹介されていて、独特のカラーがあります。それにはそういう理由があったわけですね。

お子さんが生まれる前のマリさんの暮らしから得られていたことも、何か影響しているのでしょうか。

村田：もともと私は、海外の家に住んでみるという体験が好きでした。今のようにairbnbがない時代に、パリに行ってアパルトマンを借りて2週間くらい生活するとい

うことを、毎年冬にやっていました。そこでは、街や建築が何百年規模で維持されていて、それらを上手に残しながらリノベーションをして更新していくという欧米ならではの家に対する価値観に触れました。また時には、東南アジアで高級コンドミニアムに泊まってみたりしたこともあります。とにかくいろいろな国に住んでみるという体験をしました。そこには、それぞれの国ごとに居心地の良さと豊かなコミュニティの形がありました。

ところが、日本に戻ってみると多くの人が画一的な住まいの型におさまっています。たとえば、マンションで隣に行くと間取りも、柱割りも、色も全部同じ。さらに同じような家具を選ぶのだから、全部が同じ家のようになっていて、とてもおかしく見えていました。

世界には、100世帯あれば百様の色の住まいがある。iemoの立ち上げにあたっては、海外のインテリアや家のスタイルのバリエーションを可能な限りたくさん紹介するようにこだわりました。

iemo

素敵な暮らしに出会える

住まい・インテリアの 無料まとめアプリ

iPhoneでも、Androidでも

イエモ

検索



築40年のDIY可能賃貸が大変身！自分で
できるDIYのまとめ【お部屋をまるごと
HOW TO DIY】

最近増えてきた『DIY可能賃貸』
でも、DIYでどこまでお部屋を変えること
なるところ！！
ちょっとしたマスキングテープ活用法から、
替えまで、DIYができるお部屋の変身方法をま
るごとく紹介します。

月間利用者数

800万人

— 村田さんの既出のインタビューは、どうしても事業に関する話が中心の印象ですが、こうしてiemoに個人的な想いも込められていることにしびれました。

村田: どうしてもそちらにフォーカスがあたりがちですが、私は、とにかくウェブサービスによってたくさんの人を使つてもらうことが好きなんです。それにどんな会社も創業者の熱量がないとユーザーに伝わりません。だから、私は愛のないサービスはつくらないと決めているんです。そうでなければ強みを活かせませんからね。

多くの人に色鮮やかな暮らしを

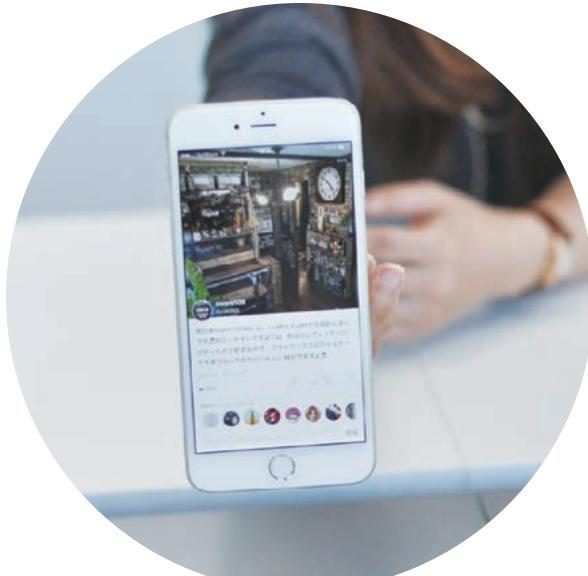
— iemoがはじまって2年が経ちましたが、ユーザーがどのようにしていくことを、目指されているのですか。

村田: iemoを使うことで、新しい家のスタイルに出会つて、たとえば家族のコミュニケーションが増えましたとか、休日を家で過ごすことが楽しみになりましたとか、そういうことを私たちは、3~5年以内に叶えたいと思ってつくりました。今はその変化を感じはじめているところです。

より多くの人たちが変わっていくためには、もっと間口を広げていくことが必要です。そのために既存不動産がターゲットとしていた既に顕在化されているユーザーではなく、30代の主婦などの潜在化しているユーザーに関心を持つてもらわなくてはいけません。

より多くの潜在的な人たちに見てももらえるように、100均ショップやDIY、生活や暮らし、家、とにかく日常でなんとなく興味がありそうなあらゆる情報を発信しています。そのひとつひとつがトリガーになっていって、そのプロセスのなかで、iemoを覚えてもらうきっかけになればいい。

iemoには一般の方とは別に、工務店や建築家、メーカーなどの「プロアカウント」が1500社近くあります。そういう方々には、リノベーションのビフォアアフター的な記事をシリーズとして書いていただいている。ここで百社百様を見せていただければ、それらがすべてユーザーにとってのきっかけになります。プロアカウントの方々にとっては、有名雑誌に載らなくても、iemoを通じて今までに出会えなかった新たな施主とも出会えることができます。



— ジャガイモの皮のむき方ひとつから、インテリアや建物の話までが地続きに発信されていること、iemoを通して、自分の素敵なものになることがすばらしいですね。それは全てマリさんの想いがあってこそものだったわけですね。

村田: 私の大好きなインターネットが解決するのは、何と言つても情報の壁です。iemoをはじめて2年が経つて、ユーザーの皆さんのが実際に自宅に手を入れはじめていることが、ようやく顕在化してきました。iemoの中には、ユーザーが投稿できる「いえれば」というコーナーがあるのですが、そのなかにはプロみたいな人が多いんです。そういう人の存在を知ることができただけでも、やってきた意義がありました。インテリアオタクは、決して特殊な趣味ではないんです。

インターネットの投稿によって伝搬されれば、また別
の人が影響されてやっていく。インターネットが得意な
このフローで、多くの暮らしが色鮮やかになっていくの
がとてもいいなと。

— マリさんは、今はシンガポールにお住まいだそうですが、どんなインテリアなのですか？

村田: 最近は、サーフ系のインテリアにはまっています。昔は木製のものや縁が好きだったのですが、旦那さんのサーフィン好きも影響してそこに落ち着きました。

私自身もアウトドアが大好きで、この前もツリーハウスに泊まりにいったり、シンガポールは季節がないので、あえて雪を楽しみにいったりもしています。手作りすることも、iemoがきっかけで好きになったんですよ。iemoのキュレーターさんたちが寄稿してくれたものに、子どもと一緒におもちゃをつくるように楽しく手作りして、それを最後にインテリアとして飾れる、という記事があって、それにはなりました。**まさに私自身がiemo女子になっています(笑)。**

ネットとリアルをつなげる未来

— 創業から2年が経ち、多くの人に認知されました。次のフェイズは、どんなことをお考えでしょうか。

村田: iemoって何だろうと模索してきて、まだ2年ですが、今や月間800万ユーザーまで成長することができました。これまでのインテリア雑誌が月刊5万部などですから、毎日ファッション雑誌を出しているくらいの数です。

今は潜在層向けのコンテンツが多いのですが、次は顕在化しはじめている、既に関心を持っている人たち向けのコンテンツを増やしていきたいですね。

たとえば、こういう家を購入したい人は、こちらに連絡をしてくださいとか、説明会はこちらですよとか、リアルなメーカーや店舗さんと一緒に来店へつなげたり、そういう方向が理想です。つまりオンラインとオフラインをつなげて、人がリアルに動くステップをいくつも作っていきたいんです。関心のある人に情報を渡し、その人がどこかへ行ったり、購入したりするところに送客できたら、本当に面白いですよね。



— その上で、さらにiemoのなかで見せ合つたりしていくわけですから、コミュニケーションも相乗的に高まっていくそうですね。

村田: 特に主婦は、外とのコミュニケーションが取りづらいことが多いので、生活の中で頑張ったことを褒められることは嬉しいんですよね。そういうコミュニケーションツールのインフラとしても、もっと使って欲しいです。

iemoのなかのちょっとしたコミュニケーションのやり取りや投稿で褒められているうちに、だんだん範囲が広がっていて、最終的に家を住み替えたり、購入したりすると思うんです。そのステップをiemoの中で、大きくしていっていただけたら嬉しいです。

— まだまだ、この先も変わっていきそうですね。

村田: インターネットを使うことで、閉ざされたものがひらかれ、多様化していくと、それまで一部のひとにしか実現できなかったことが、他のひとにもできるようになります。

たとえばiemoでDIYなどの知識を得たユーザーが、自分でもできるようになり、やがて周りの人のためにも役立てて謝礼をもらう未来が来るかもしれません。そして、これまで家をつくる、購入するという過程に生じていた扱い手というのがもう少し細かく碎けて、分散していくと思っています。つまり個人個人の暮らし方に合わせた家づくりを実現にするにあたり、行程や担当が細分化し、また業者や専門家とユーザーの棲み分けや役割も変わっていくのではないかと。

— 海外のように多くの人たちが、ある程度の工事や取り付けができるようになれば、インテリアデザイナーも建築家も、いらなくなってしまうのでしょうか。

村田: そういう世の中が来るかもしれないけど、そうは言つても、専門家の人にまかせたほうがいいということは、在り続けると思います。場合によっては中途半端なポジションにいる人は、職がなくなるかもしれませんね。きちんとクオリティの高い仕事を、スピード感を持ってくれるひとは生き続けるでしょうし、そういう専門家につなげ続けていくこともiemoとしては、大きな役割だと考えています。



賃貸でも可能！

アメリカ西海岸風

ティーストの作り方

iemo掲載URL <http://iemo.jp/34003>

このコーナーでは、巻頭インタビューでお話いただいた方の今、気になるインテリアやアイテムなどをご紹介。

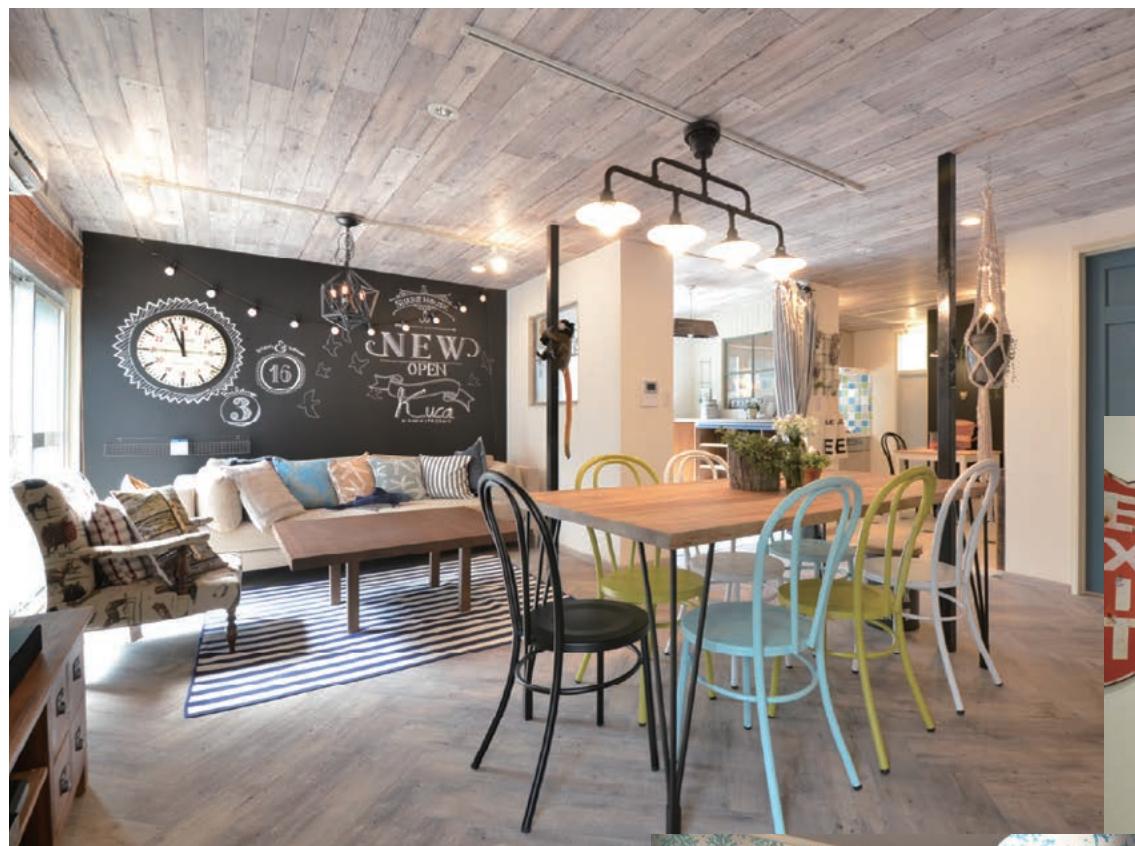
私たちにたくさんの刺激を与えてくれるトップランナーたちは、プライベートではどんなものに興味があるのか？！？インテリアの目線から、パーソナルな視点をお伝えします。

今回は、村田マリさんの気になるインテリアをiemoの記事からピックアップ！
iemoをつくった張本人は、どんな記事を選んだのか？
ここでしか見ることのできない
プライベートなマリさんの姿が見えてきます。



マリさんからのコメント
サーフ系インテリアが、いま気になります！だから、都会っぽい生活と、ゆるリラックスの融合した空間のつくり方を、もっと知りたい。さらに、マリン系アイテムの飾り方にも、ヒントがほしいんです。

Point1. 西海岸風インテリア、明るい空間づくりに爽やかな青をプラス



西海岸風のサーフ系インテリアのポイントは明るい部屋づくり。白い壁に木目のデザインで雰囲気をつくりましょう。木目の色も、暗い色ではなく西海岸の日差しを思わせるような明るい木目がおすすめ。そこに少しだけ爽やかな青い要素をプラスすれば、マリンティーストなサーフ系インテリアの完成です。

今では貼ってはがせるのりもあるので、壁や床を貼りかえて、賃貸であっても簡単にお部屋のイメージチェンジができますよ。



今回、マリさんがセレクトしたのは、トレンドの一つである「西海岸風」インテリアについての記事。「MATERIAL」では、この記事に絡めて、憧れの「西海岸風」のお部屋をつくるポイントをピックアップして紹介します。

詳しくは、実際のiemoの記事を、ぜひ参考に！



[出典]iemo「目指せ西海岸スタイル！ロンハーマン風ラフ＆リラックスな空間作り」
(<http://iemo.jp/34003>)

Point2. サーフ系グッズで西海岸の気分を演出！



サーフ系、もうひとつの必須アイテムといえば、やはり小物たち。定番のマリンモチーフを使うだけでぐっと気分が高まります。さらに、少し潮風に吹かれて傷んだくらいの質感があれば、より今っぽいサーフ系ティーストの完成です。小物に雰囲気を出したければ、自分でエイジングするのもおすすめ。エイジングリキッドという、少し古びた加工ができる塗料を使えば簡単に少し乾いた質感を演出することができます。無造作に箱に入れて見たり、上から吊って見たり、きれいに並べすぎないラフな飾り方で、サーフ系インテリアの雰囲気を。

[出典]iemo「目指せ西海岸スタイル！ロンハーマン風ラフ＆リラックスな空間作り」
(<http://iemo.jp/34003>)

MATERIAL SELECTION

マリさん注目の西海岸風テイスト MATERIAL的スタイリング

- 01 壁紙：GRIS GRIS MTE65660006 (13,000円/1ロール)
- 02 WOODEN PHOTO FRAME (2,500円)
- 03 J.WウォールブラインドミラーS (7,800円)
- 04 Bone Object (各1,500円)
- 05 ウィンドウフレーム (S/1,980円 L/2,600円)
- 06 バンブーチェア・フランス1940年代 (malto/23,000円)
- 07 グリーンテーブル・イギリスロイドーム1960年代 (malto/60,000円)
- 08 ジャグ・ハンガリー1950年代 (malto/10,000円)
- 09 白いツール・イギリス1890年代 (malto/15,000円)
- 10 HANGING LANTERN COCOON DROP S (2,000円)
- 11 COLOR GLAZED POT (1,000円)
- 12 decolfaフロアパネル (予定価格1,000円/1枚, 300×300mm)



WOODEN PHOTO FRAME (1,800円)



テーブル左より FOSSIL PLATE (1,500円)、FISH MEASURE SET (2,100円)、CUTTING BOARD S (2,600円)



J.WウォールブラインドミラーS (7,800円)



すべてDECOR TOKYOにて販売中
東京都渋谷区恵比寿西1-31-18

<http://decor-tokyo.com/>



ハングイング/HANGING BRANCH FUGA(1,500円)
窓に貼ったもの/decolfa ウィンドウシート グリーン (1,500円)



ウッデン・ストロングボックス2点セット(12,000円)



左/パードケージ(3,980円)
右/Hanging vase with the rope Clear (1,500円)

photo by YOKO SAWANO

インテリアグッズに隠されたストーリーを紐解く

MATERIAL STORY

vol.1 Cole & Son

空間を彩るさまざまなインテリア商材たち、
その一つひとつには、つくり手の想いや、
その商品を世の中に広めてきた人々の大きな功績が隠されています。
普段、知ることのできない、インテリア商材に隠されたストーリーを
夏水組代表の坂田夏水が紐解きます。

住まいを美しく表現する文化に学ぶ

Cole&Son社はイギリスで18世紀に生まれ、いまや世界中で人気の壁紙メーカーです。美しい伝統的な印刷技術は英国王室にも評価され、今では王室御用達の老舗ブランドとして知られています。有名なところではバッキンガム宮殿やアメリカ・ホワイトハウスといった建物でも使用されています。そんなCole&Son社が生まれたイギリスでは、自宅の壁を自由にペンキで塗ったり、好きな壁紙を自分で貼ったりするのは一般的で、半数の人が経験があるそう。ファッショント同じように生活を美しく表現することはあたりまえ。住まいを大切にする文化が根付いています。日本でも見習いたい文化のひとつといえるでしょう。

イギリスで誕生し、150年 壁紙のトップエキスパート Cole&Son社

Cole&Son社は、1875年のイギリス ケンブリッジシャー州でJohn Perryによって設立されました。18世紀には、Jeffrey&Co., Sanderson, Shand Kyddなどの有名な会社に印刷した商品を納品し、実績をつんできました。設立から150年近くの長きに渡り、高級壁紙をデザイン、印刷し続けたことにより、Cole&Son社は 壁紙のトップエキスパートとして認識されるようになりました。

世界中のプロが愛する Cole&Son社ならではの美しさ

Cole&Son社ならではの繊細で美しいデザインを表現していたのが最も古い印刷技法であるブロックプリントです。これは木版で版画のように刷り重ね、一枚一枚丁寧に手刷りで製造する方法です。こういった4000種以上のブロックプリントの版は、今でも本社で大切に保存されています。今では樹脂版が改良され、印刷品質は保ったまま大量生産されるようになっていますが、こういった版画のような印刷技法こそ、壁紙の魅力のひとつといえます。また、こういった印刷技法だからこそ生まれる、マージナルラインという色の重なりの美しさが世界中の壁紙を愛するプロに選ばれ続けています。18世紀から変わらず世界中で愛され続けるデザインと印刷技法はインテリア業界の宝といっても過言ではないでしょう。

取材協力:テシード



古き良きブランドを大切にしていかたい、
今回の取材に協力いただいたテシードのみなさん
〒171-0031 東京都豊島区目白2-1-1 目白NTビル7F
TEL: 03-3982-9051 FAX: 03-3980-9716
WEBSITE: <http://www.tecido.co.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/tecido.co.jp>
Instagram: http://instagram.com/tecido_wallpaper



BY APPOINTMENT TO HER MAJESTY THE QUEEN
SUPPLIERS OF WALLPAPER, COLE & SON (WALLPAPERS) LTD.

Cole & Son®

MANUFACTURERS OF HAND PRINTED WALL PAPERS SINCE 1875

Cole & Son社の壁紙は、
こんなふうにつくられています！

- 1:保管されるブロックプリントの木版
- 2:樹脂版が改良され大量生産が可能に
- 3:たとえば、HUMMINGBIRDSのデザインだと色を重ねたマージナルラインの美しさがこのように見える

世界的名壁紙は、このふたつ！



Piero Fornasetti (ピエロ・フォルナセッティ)のデザインは世界中にコレクターがいるほど人気。なかでも、女性のさまざまな顔でデザインされた、写真の「フォルナセッティ」というシリーズは、世界的に有名になった壁紙デザインです。今では、ライセンスが切れでデッドストック品のこと。



ポール&ジョーが全国の店舗で実際に使用したフラミンゴ。この壁紙は、日本のファッショント業界で輸入壁紙の良さを伝えるきっかけとなりました。(66/6044)(サイズ:52cm×10m、¥22,000/1ロール)

MATERIAL、この夏オススメの Cole&Son壁紙たち！



くじらが海を泳いでる！？

涼しげなデザイン
[103/1004](サイズ:68.5cm×10m、
¥29,000/1ロール)

こんなお部屋で

涼しく読書したい
[103/11053](サイズ:52cm×10m、
¥29,000/1ロール)

いろんな魚がいっぱい

まるで海の中にいるみたい
[97/10030](サイズ:68.5cm×10m、
¥38,000/1ロール)

マテリアルがピックアップする今季のおすすめ商品たち

MATERIAL PICKUP

さあ、道具を片手にはじめよう！DIYの世界へ！



photo by YOKO SAWANO

01 もはやDIYには欠かせないマスキングテープ!
decola インテリアマスキングテープ
(50mm×8m/500円)

02 輸入壁紙の代名詞
UTOPIA4 180326(15,000円/1ロール)

03 これぞスーパーフェイクの世界、人気の本棚柄
KOZIEL Byblio(11,000円/1ロール)

04 これを塗ればどんなものもシャビーなイメージに
イマジンエイジングリキッド(1,490円/500ml)

05 おじさんフックは目にビスを打ち込んで!
おじさんフック(各種1,000円)

06 貸貸でもつけられるフック付ステッカー
decola フックステッカー(850円)

07 貸貸でもつかえる貼ってはがせる輸入壁紙用のり
スーパーフレスコイージー・ウォールペーパースト(900円)

08 これさえあれば輸入壁紙が簡単に貼れる!
輸入壁紙施工道具11点セット(3,696円※他にバケツやスポンジ等がセットになります)

09 夏水組オリジナルペイントはくすみカラーが美しい!
夏水組セレクションペイント(700円/100ml 2,600円/500ml)

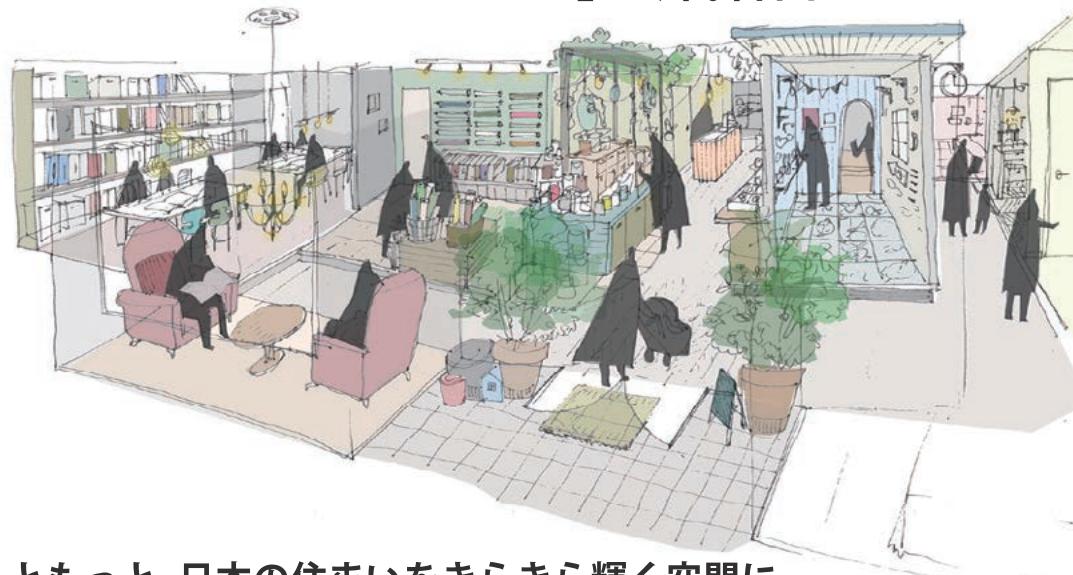
10 ウィンドウ周りのデコレーションはこれで!
decola ウィンドウシート(1500円)

11 ちょっとしたデコレーションに使いたい
TWISTED STRING(400円)

DECOR TOKYO

NEW OPEN!

2016年5月1日、今までにない新しい形のインテリアマテリアルショップ「DECOR TOKYO」が、代官山にオープンします。



もっともっと、日本の住まいをきらきら輝く空間に。

豊かな住まいを楽しんでほしい。ファッショントイのように住まいのものも選んでほしい。
Decor Tokyo は、そんな想いからできた今までになかった新しいインテリアショップです。
小さなDIYグッズから壁紙や建具、床材などの内装建材、更には家そのものまで。
ここに来れば全てが選べる。インテリアの新しい時代がはじまります。

Decor Tokyo

Interior Material Store

住所：渋谷区恵比寿西1-31-18

アクセス：東急東横線 代官山駅 徒歩3分、

JR山手線 恵比寿駅 徒歩5分

TEL : 03-5784-1597

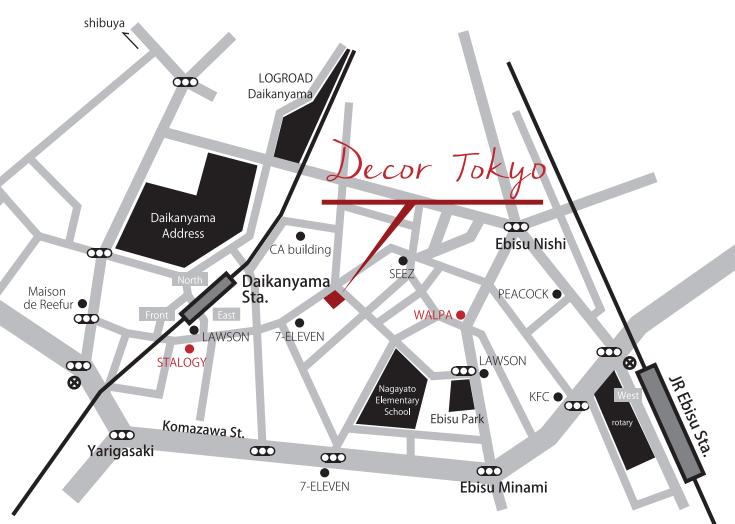
MAIL : contact@decor-tokyo.com

[5月プレオープン中]

営業時間：11:00～19:00

営業日：木～日曜日

※ 6月からは、通常営業の予定



URL : <http://decor-tokyo.com/>

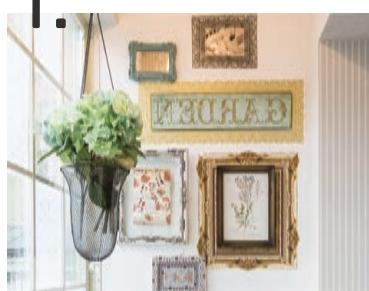
facebook : decortokyo

Instagram : decortokyo

WORKSHOP

今後DECOR TOKYOではさまざまなワークショップを開催予定です。
開催情報はHPやFacebook等で随時更新していくので、是非ご覧ください。

1 オリジナルマスキングテープを使ったワークショップ



貼って剥がせるから、場所を選ぶことなく
使えるのがマスキングテープの良いところ。
夏水組オリジナルデザインのインテリア
アマスキングテープ decofa を使ってお部
屋を簡単にデコレーションしませんか？

- 場所 : DECOR TOKYO
- 所要時間 : 約 60 分
- 料金 : 500 円程度

2 オリジナルペイントを使ったワークショップ



塗ってみたい！だけでもまずは試してみた
い…という方に、夏水組セレクションの
ペイントを塗ってもらえるワークショッ
プを開催予定。オリジナルペイントなら
ではの優しい色合いを楽しんで！

- 場所 : DECOR TOKYO
- 所要時間 : 約 120 分
- 料金 : 1500 円程度

協賛

iemō

壁紙屋本舗

カベガミヤホンボ

ひとりひとりに、しあわせな暮らし
リノべる。

Nitto 株式会社ニトムズ
Group Company

BinO
Master's Club
FREEQ HOMES